

昔見たあの風景。
往時のような活気に包まれる通り。
自然と懐かしさが込み上げてくる。
一本の通りが、
昔と今をつなぎ、
新しい出会いは未来へとつながる。

昔と今を未来につなぐ道

▲往時のような活気あふれる通りを切れ間なく人が歩く



▲生け花が通りを彩る



▲お茶席で一服



▲通りの景色を楽しむ子どもたち



▲「それ!」。約6mの巻き寿司を声をそろえて巻く



▲大人気の昔懐かしい水あめ



▲レコードを聴きながら



▲紙芝居



▲竹細工に興味津々



▲夕闇のなかで



▲光るオブジェ



▲ライトアップされたまちかど郷土館



総社宮の門前町として栄えた総社商店街一帯を舞台に、昭和30年代のにぎわいを再現したイベント「れとろど08」が開かれ、9月27日・28日の両日、家族連れら約2万人の人数でにぎわった。

空き店舗や軒先を利用し、東西約1kmにわたって、古き良き時代を演出。市民有志による駄菓子屋、懐かしい味のするコロッケやカレーの店、お茶席、各流派による生け花、ギャラリー、喫茶店、映画館などが通りの両側を埋めた。

往時の活気を取り戻したように、懐かしい雰囲気を楽しむ人の笑顔が通りにあふれていた。

27日の夜には、開館20周年を迎えたまちかど郷土館がライトアップされたのはじめ、びーどろびんとうろそくの明かりが通りをほのかに照らし、訪れた人たちは幻想的な風景に浸っていた。

れとろど